

10

国際貢献

1 連携による技術支援

県内関係団体との連携による技術支援

本市は、国際貢献の一環として、平成22年より沖縄県企業局とJICA沖縄が行っているJICA地域別研修「島嶼における水資源保全管理」（平成22年～24年）、JICA課題別研修「大洋州島嶼における水資源管理・水道事業運営」（平成25年～26年）に参加しています。

当研修は、大洋州島嶼国（フィジー、サモア独立国、トンガ、ソロモン諸島、マーシャル諸島、ニウエ、クック諸島、ナウル）の国々が気候や地理、水源など共通点が多い本県において、水道事業に関する研修を県内各水道事業体で実施し、毎年10名程度の研修生を迎えています。

研修では、職員が講師として配水ブロックや漏水調査技術等について講義・実習を行い、現地の水道事業の発展に貢献できるよう努めています。



市長表敬訪問



研修の様子（沖縄市水道局）



料金システムについて質問する研修生



漏水調査実習に励む研修生

10. 国際貢献

1. 連携による技術支援

持続

現地における支援活動

平成26年11月から約1ヵ月間、本市職員を「沖縄連携によるサモア水道公社維持管理能力強化プロジェクト」における水圧管理に関する短期専門家として、県内水道事業体で初めてサモア独立国に派遣しました。

派遣期間中において、サモア水道公社職員への水圧調査や配水コントロールに関する講義等を行い、水圧管理の技術指導を行っています。サモア独立国の首都アピア住民に安全な水が安定的に供給されることを目的に計画期間5年間（年1回派遣）が予定されています。



現地にて水圧調査の指示を行う本市職員



JICA・現地職員・本市職員による全体会議の様子（サモア事務所）



配水コントロールについての講習会



調査機器の取付作業

これからの取り組み

職員が研修受け入れ時の講師や海外派遣などの技術支援を行うことにより、職員能力の向上が図られ、人材育成や水道技術の向上にも繋がることから、今後も「JICA課題別研修」や「技術支援プロジェクト」を沖縄県企業局や県内水道事業体、JICA沖縄と連携・協力を図りながら推進していきます。

【関連する計画や取り組みなど】

- 第4次沖縄市総合計画(基本構想前期基本計画)
- 技術力の強化
- 人材育成の向上

